

2026年

Project μ プレゼンツ

本庄軽 one 耐久学耐クラスシリーズ 2026

規則書 ver. 1

2025年3月30日掲載 緑字箇所が2025シリーズから変更または追加箇所になります。

※当規則書は予告無くシリーズ途中でも内容が追加・変更となる場合がございますので予めご了承下さい。

赤字箇所及び青字箇所は重要項目になります。

本庄サーキット事務局

Project μ プレゼンツ 本庄軽 one 耐久学耐クラスシリーズ 2026 開催規則書

本庄軽 one 耐久学耐クラスシリーズ 2025 は、本開催規約及び特別規則に従って開催される。

すべての参加者は諸規則を熟読、精通し遵守するとともに、オフィシャルの指示に従う義務を負うものとする。

【1】主催・開催場所・申込・お問合せ先

〒367-0224 埼玉県本庄市児玉町高柳 883 本庄サーキット軽耐久レース運営事務局

TEL:0495-72-9611 / FAX:0495-72-9612

【2】レース種別及び開催日

Rd.1 5月16日(土) / Rd.2 8月1日(土) / Rd.3 10月17日(土)

5時間耐久レース

【3】エントリーフィー

専門及び大学生 ¥41,000/1チーム(保険料別途¥500/1名)税込

※保険は参加選手及びピットクルーの方も加入義務があります。

参加メンバーの3分の2以上の方が学生であることとし、エントリー名には学校を記載すること。

ロールケージ装着車両は¥2,000/台 割引

※屋根付きパドックご希望の場合は別途¥2,000/台

電話受付先着順、埋まり次第終了とさせていただきます。(7台～8台となります。)

【4】参加資格

普通自動車免許証の所持者及び、[本庄サーキットのビジターライセンスもしくはメンバーライセンス所有者](#)。

ライセンスの取得はフリー走行日の朝8:00もしくは昼12:00の講習を受講してください。

エントリー完了後、大会当日までの本庄サーキットのフリー走行日に講習を受講したドライバーに関しては新規入会者に限り

ビジターライセンス入会費用3,500円を免除とし、メンバーライセンス入会の場合

3,500円引きとする。またレース参加前に本庄サーキットの走行経験があること。

※ライセンス更新及び期限切れ再講習、大会当日の臨時講習はライセンス代免除には
なりませんのでご注意ください。大会当日の臨時講習は9時～9時20分頃に行います。

20歳未満のドライバーが参加する場合、

親権者の署名・捺印(実印)のある未成年者 競技参加承諾書を添えてお申込みください。

【5】募集台数・参加人数

募集台数-合計29台(先着)

参加1台につき最低3名からとする。同一ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。

【6】参加受付

電話予約後、各大会1ヶ月前から1週間前必着。また、定数になり次第受付終了します。申込み用紙、

誓約書に漏れなく記入捺印の上、参加料を添えて現金書留又は、軽 one 耐久事務局(サーキット窓口)まで

お早めにお持ちください。なお、FAXでのエントリー、ご入金でのお支払いは受け付けません。

【7】参加受理

本大会の参加申込みに際しての受理は、本大会事務局が発行する正式受理書をもって、参加を受け付けたものとします。(正式受理書の発行は申し込み期間終了後、メールにて発行されるものとします)

※メールアドレスは、必ずご記入ください。ご記入がない場合は、受理書は発送されませんので
予めご了承下さい。

本大会事務局は参加申込みの個人又はチームに対して、理由を明かすことなく参加を拒否することが出来るものとします。

【8】中止延期・エントリー費の返金

主催が危険と判断した場合及び、様々な要因でタイムスケジュールに遅れが出た場合は、中止もしくは延期、タイムスケジュールの短縮を行う場合があります。尚、悪天候による中止・天災による施設使用が困難な場合の中止にかぎりエントリーフィーから¥1,000(事務手数料)を差し引いて返却致します。エントリー受理後のキャンセルについては大会日から1週間前までは¥1,000(事務手数料)を差し引いて返却いたします。1週間を切ったからの参加者理由による返却は行いません。

【9】厳守事項

1. 全てにおいて、時間厳守とします。タイムスケジュールに遅れるチームは走行をお断りする場合があります。

やむを得ない事情等により、朝の受付時間に間に合わない場合は受付終了前に事務局までご連絡ください。

(連絡なき場合は出場を辞退したものとみなします)

2. ドライバースミューティングは必ずドライバー全員が参加してください。

ドライバースミューティングに参加出来なかったドライバーは走行不可とする。

3. 参加ドライバー & チームは、チーム代表者を参加申込書に明記し、

アナウンスによる呼び出し等が行われた場合は速やかに対応できる体制を取って下さい。

また、メインポストからのペナルティ等に対しても、チーム代表者は速やかに対応してください。

4. 大会規則の遵守 全ての参加者は大会規則書の熟読・理解し規則を遵守すること

(疑問のある場合はドライバースブリーフィングで速やかに質問し、走行前に確認すること)

【10】ゼッケン

ゼッケンは主催者側で決定し、当日の車両検査終了時に配布します。

配布されたゼッケンを参加車両の左右のドア部分に貼り付けてください。

ゼッケンは走行開始から終了まで、脱落することなく必ず保持してください。

【11】走行時服装規定

参加ドライバーはヘルメット(JIS規格C種以上が望ましい)及びレーシンググローブ

(指先まで覆うもの)が必須。服装はレーシングスーツ・レーシングシューズが望ましいが、

上下の繋がった**長袖・長ズボン**の作業ツナギ(なるべく燃えにくく丈夫な素材が望ましい)

及び、運動靴での参加も可。**長袖Tシャツ・Gパン・ジャージ・スウェット等での走行は不可とする。**

【12】車両規定

車両規定を遵守した車両でご参加ください。

1) 車両

1. 一般的に市販されている自然吸気(NA)エンジン搭載の軽自動車を使用する事。
2. 駆動方式は自由とする。
3. エンジンや排気管からの白煙並びに油脂類等の液体漏れが無い事。
4. 規定範囲内での改修及び改造部位以外は可能な限り純正状態を維持する事。

2) エンジン・ECU

1. 同一車種以外のエンジンは載せ換え不可。
2. エンジン及びECUは、当該車両純正の物もしくは同一車種純正の物を純正状態のまま使用する事。
(加工、追加基盤、書き換え等一切禁止)

3) 吸排気系・燃料装置

1. マフラー及び排気系等の全ては当該車両の純正もしくはその同等品を使用する事。
2. スロットル～エアクリーナーボックス間(スロットルは除く)の変更可。
3. インテークマニホールド及びスロットルバルブの変更可。
4. エンジンオイルクーラーの取付け不可。(当該車両が純正で装備している物は除く)
5. 燃料タンク及び燃料ポンプは、当該車両純正の物を一切の加工をせずに使用する事。
6. 燃料噴射装置及び燃料気化器(キャブレター)の変更可。

4) 駆動系

1. L.S.D(リミテッド・スリップ・デファレンシャル)は、いかなる形式であっても装着禁止。
2. トランスミッションは、当該車両純正の物を一切の加工・内部部品の変更をせずに使用する事。
3. クラッチ及びフライホイールは当該車両純正の物もしくはその同等品を一切の加工をせずに使用する事。
4. AT車及びCVT車は、ATFクーラー、並びにCVTFクーラーの取付け可。
5. MT車のトランスミッションオイルクーラーの取付け不可。

5) ボディ・フレーム・ウインドウ(窓)・外装部品

1. ボンネット・トランクリッド・リヤハッチに限り、FRP及びCFRP(カーボン)製の物への変更可。(車検員が強度が無いと判断したものは不可。また、ボンネットピンもしくはボンネットフックの各2カ所以上の装着を必須とする。)
2. ボンネットの加工不可。(材質変更時におけるボンネットピン等の取り付け加工及び装着に伴う小加工、並びに防音材の取外し除く)
3. ボンネットピン及びボンネットフック等のファスナーを装着する場合は、外部より容易に開閉できる物とし、目立つ色の矢印マークで位置をマーキングする事。
4. 前後バンパーに限りダクト取り付け等の限定的な加工のみ可。(小加工と認められない範囲での切断等、当該車両純正状態から加工により著しく外観が変更されている物は不可)
5. 前後フェンダーは純正品を使用する事。
6. インナーフェンダーの取外し可。
7. 前後フェンダーの取外し及び変更、並びに取付位置の変更不可。

8. 前後フェンダーの加工は爪折加工及び叩き出し加工に限り可。
9. 運転席及び助手席ドア以外のドアパネルの加工可。(ただし、インパクトビームの取外し等、車検員が著しく強度が低下していると判断した場合は乗員の安全確保のため不可)
10. ボディ、フレーム、モノコックの加工は一切禁止。(ロールケージ装着に伴う小加工のみ可)
11. バンパー並びにグリル等、外装部品の取外し不可。
12. エアロパーツの取付不可。
(メーカーでオプション設定されている物や、同一車種その他グレードの物は可)
13. ウィンドウガラスは全ての箇所当該車両純正品もしくはその同等品を使用する事。
14. 全てのドア及びトランクリッド及びハッチは正常に開閉できる事。

6)内装部品・その他装備品

1. 運転席はフルバケットシート、もしくはセミバケットシートを確実な取付方法で使用する事。
(車検員が著しく強度が無いと判断する物は不可)
2. 運転席以外の座席の取外し可。
3. 運転席及び助手席ドアの内装トリムの加工及び取外し不可。(ロールケージ装着に伴う小加工のみ可)
4. 運転席及び助手席ドア以外のドア及びトランクリッド及びハッチの内装トリム(防音材等含む)の加工及び取外し可。
5. カーペット及び内装トリム(共通規定及び当項目(1)(2)で規定されていない部位)の取外し、並びに加工可。
6. バッテリーを車内へ移設する場合、ボルト&ナットで確実に固定された金属製の堅牢な箱状のカバー内に、金属製の留め具を使用して確実に取り付ける事。
7. スペアタイヤ、車載工具類、固定されていないフロアマット、書類、その他アクセサリ等振動やクラッシュ等で飛散しやすいものは取り外す事。
8. ドライバーの使用するシートベルトは、4点式以上の物を確実な取付方法で使用する事。
可能な限りアイボルト等のシートベルト取付用金具を使用し、純正シートベルト取付穴を使用しないで取り付ける場合はストレスプレートを使用し確実に取り付ける事。
9. ステアリングホイールの変更可。(車検員が著しく強度が無いと判断する物は不可)
10. シフトノブの変更可。(車検員が運転に支障があると判断したものは不可)
11. 6点式以上のロールケージ装着をドライバーの安全確保のため強く推奨します。
12. 屋根(ルーフ)等、ドライバー上部が開閉や脱着できる車両(オープントップ及びタルガトップ等)は4点式以上のロールケージを取付ける事。
13. ロールケージを装着する場合はストレスプレート(当て板)を使用し、ボルト&ナットで確実にフロアパネル等へ取り付ける事。**※溶接を伴う加工は禁止とする。**
14. ロールケージの素材は、無加工で追加装着したバーを除きスチール製とクロムモリブデン鋼製に限定する。
15. ロールケージを装着する場合、ドライバー保護のため、ドライバーの頭部が接触する恐れのある部位をロールバーパッドで覆う事。
16. 消火器をドライバーが運転席に座った状態で手が届く範囲に確実に取付ける事。
消火器の容量は最低 600g とし 1kg 以上を推奨とします。
17. 追加の計器類(メーター等)の取付け可。
18. ダッシュボードの取外し及び加工不可。(ロールケージ取付に伴う小加工は可)
19. 室内に送風用ダクトを設置する場合は確実に取付ける事。

7) タイヤ・ホイール

1. ホイールの変更可。
2. タイヤの変更可。(Sタイヤ及びスリックタイヤ及び競技専用タイヤの使用不可)
3. タイヤ並びにホイールの変更時は、タイヤ並びにホイールがフェンダーからハミ出さない事。

8) サスペンション(懸架装置)

1. スプリングの変更可。
2. ショックアブソーバの変更可。
3. アッパーマウントの変更可。
4. ラテラルロッドの変更可。
5. サスペンション(懸架装置)のブッシュの変更可。
6. 上記以外のサスペンション(懸架装置)の変更不可。
7. サスペンション(懸架装置)の規定範囲内での変更は認めるが、車検員が著しく強度が無いと判断した物は不可。

(補足1) 純正でスタビライザー非装着車への多車種流用による装着は不可。

(L275 ミラへ L175 ムーブのスタビライザを装着)等

(補足2) リヤアックスルのキャンバー加工不可(ハブへのシム装着も含む)

9) ブレーキ

1. ブレーキキャリパーは、無加工でボルトオン取り付けのできるキャリパーに限り流用可。
※流用する車種の純正及び純正相当品に限る。
2. ブレーキディスクローターは、無加工でボルトオン取り付けのできるローターに限り流用可。
※流用する車種の純正及び純正相当品に限る。
3. ブレーキドラムは、当該車両純正もしくはその同等品を使用する事。
4. ブレーキパッド及びブレーキシュー(ライニング)の変更可。(走行前の新品装着を強く推奨)

10) 灯火類

1. ヘッドランプ及びテールランプは、当該車両純正もしくはその同等品を無加工で使用する事。
2. フォグランプ及びデイタイムランプ、並びに車両装着の作業灯を除く全ての灯火は正常に作動する事。
3. フォグランプ及びデイタイムランプ、並びに車両装着の作業灯の取り外し可。
4. 全ての灯火類は破損時の脱落や飛散を防ぐためテーピングをする事。(テーピングはレンズを跨ぎ、レンズ外側のボディパネルまで伸ばす事)

11) その他

1. フロントウインドウのワイパーは正常に動作する事。
2. 牽引フックを前後に装備(純正牽引フックも可)し、外部から容易に分かるように目立つ色の矢印マークで位置をマーキングする事。(牽引フックをペイント等で外部から目立つようにする事を推奨します)
3. バッテリーの変更可。(金具で確実に固定する事)
4. ブレーキ及びクラッチのリザーブタンク並びにバッテリーの+ターミナルは確実にテーピングする事。
5. 油脂類(冷却水、オイルレベルゲージ含む)の漏れ防止対策を行う事。

6. ウィンドウネットを使用する場合は既製品を使用し、確実に取付ける事。※ドアバイザーとの同時装着は不可とする。
運転席側窓の概ね 75 %以上の面積を覆っている場合のみ窓ガラスを開けての走行を可とする。
※なお、判断はサーキットスタッフの一任とさせていただきます。

(窓ガラスのサイズに対して小さすぎる物の使用は不可)

7. レース中のクラッシュによりバンパーなどの外装パーツや灯火類が破損や外れた場合、
車両の修復が完了するまで再出走は認めない。
灯火類は最低でもヘッドライトは片側、テールランプは両側が車両に付いていなければならない。

【13】車検

1. 車検開始時間までに車検を受けられる状態(車両は走行する状態でフロントタイヤを両輪浮かせ、ヘルメットを車両の上
に置く)に準備をしておいて下さい。
2. 車検員が検査に来た時点で車検が出来る状態ではなかった場合は、他車の検査が終わり次第再検査となります。(そ
の場合、車検時間内に検査が終わらずに走行開始時間となってしまった場合の対応は行ないません。)
3. 車検終了時にゼッケンを配布します。ゼッケン取付位置はボディ両サイドのドア付近とする。
4. 上位入賞チームは、車検員による再車検が終了するまで車両保管をお願い致します。

【14】賞典

上位3チーム トロフィー+副賞 ※参加が15チーム以上の場合には5位まで表彰
シリーズ最終戦時に上位3チームを表彰

【15】参加走行規定

1. 決勝グリッド

決勝のスターティンググリッドは予選走行にて決定します(クラス分け関係なくベストタイム順となります)

2. 決勝スタート方式

スタート方法は、セーフティーカー先導によるローリングスタート。セーフティーカーを先頭にフォーメーションラップを開始。
隊列が整ったところでセーフティーカーがピットイン。フォーメーションラップ中は、前の車両との間隔を極力詰めること。
ブリヂストンゲートで振る日章旗を合図にレーススタートとします。セーフティーカーがピットイン後もスタートライン(ブリヂ
ストンゲート)手前は追い越し禁止です。

グリッド整列終了時刻までに整列できない車両はピットスタートになりますので、オフィシャルの指示に従ってください。

※ポールポジションおよびセカンドポジションの車両は、先導のセーフティーカーとの間隔を車両2~3台分程度をキー
プし、それ以上間隔を開けずにフォーメーションラップを行うこと。

スタート合図の日章旗が振られる前の加速、またブリヂストンゲート手前での他車の追い越し、隊列をみだす行為をし
たとみなされる車両はペナルティ対象とする。

※ピットスタートの場合には、日章旗が振られてから3分間が経過した時点でコースイン可能とする。

3. 走行中の運転席側窓は全閉(もしくはウィンドウネットの装着)で、ドアロックは開錠した状態にする事。
4. ピットイン&ピットアウトは後続車に分かるようにウインカーで合図する事。急激な進路変更は禁止とする。
5. コースアウト

コースアウトなどにより本コースに復帰(オフィシャルの引き上げが必要)できない場合は、
ハザードを点灯し車の中で待機すること。 ※車両火災時を除く

セーフティーカー介入後(場合によってはレッドフラッグにて走行中断)オフィシャルが迅速に
車両引き上げに向かいます。オフィシャルが到着したら、ドライバーは速やかにオフィシャルの、
指示に従い車両を本コースに復帰後、一旦パドックに戻り、オフィシャルによる
再検査(車両点検)を受けた後、再スタートを切ることができます。

6. セーフティーカー先導ラップ

走行に支障をきたす事故・車両回収がコース上で発生した場合は、メインポストにて黄旗+SCボードを提示しセーフティーカーを導入します。

黄旗+SCボードの前を通過した車両は追い越し禁止、1列になり隊列を整えセーフティーカーの後ろに続いて下さい。

セーフティーカーの後ろについた先頭の参加車両は、先導のセーフティーカーとの間隔を車両2～3台分程度をキープし、それ以上間隔を開けずにフォーメーションラップを行うこと。

セーフティーカーがコースに入っても、黄旗+SCボード前を通過していない車両はピットイン可能です。1度でも黄旗+SCボードの前を通過した車両はピットインは不可となります。

SCボードが出ているタイミングでピットインをしていた車両は、コースインのタイミングはコース入口に居るオフィシャルが誘導を行いますので指示に従って下さい。

コースの処理が終わり次第、先頭のセーフティーカーがコース出口からピットインをし、その周のブリヂストンゲートからレース再開となります。※メインポストにて緑旗が提示されます。

セーフティーカーがピットイン後もスタートライン(ブリヂストンゲート)手前は追い越し禁止です。

また、セーフティーカーがピットに入った周と同時にピットインする事は禁止です(ピットスルー対象)

レース再開の合図の緑旗が振られる前の加速、またブリヂストンゲート手前で他の車の追い越し、隊列をみだす行為をしたとみなされる車両はペナルティー対象とする。

7. ピットロード

ピットロード及びパドックはリバースギアの使用を禁止し、**減速ライン～加速ライン間のピットロード速度は最徐行(別紙のパドック図に記載)**。また、シートベルトは外さずに走行すること。

※ピットロード速度を違反をしたとオフィシャルが判断した場合、**初回はオフィシャルよりチーム員へ警告を行います。2回目以降の違反についてはピットスルーペナルティーの対象とする。**

また、ドライバー交換等を含む決勝中のピット作業の際は、必ずエンジンを停止すること。エンジンの押しがけ及び走行補助等の行為は禁止とする。

8. ドライバーチェンジ

ドライバーチェンジの回数は10回以上とする。 同一ドライバーの連続走行時間に制限はありません。ドライバー交代場所でのピット作業は全て禁止とする。(エアーチェック・冷却・テープを使った補修など)もしピット作業をする場合は1度コースイン後に再度ピットインをし、各自のパドックで行うこと。その際のドライバー交代は不可とする。(ドライバー交代場所からパドックへの侵入は不可)

※ドライバー交代エリアに入った時に次のドライバーが待機していない場合には、ドライバー交代は出来ません。その状態での待機不可。ドライバー交代エリアを通過しコースインをすること。
ドライバー交代エリアでの悪質な場所取り行為は禁止とする。(ピットスルーペナルティー対象)

※悪天候やその他の原因でレースが途中で中断した場合のドライバー交代回数に関してレースが中断しそのまま終了した場合、残りの規定回数によるペナルティーは無しとする。

レースが再開した場合、残り時間を考慮して規定回数を下記の通り減算とする。

(中断時間30分につき1回減算 例:1時間中断した場合2回減算)

9. タイヤ交換

決勝レース開始前のタイヤ交換は可とする。

決勝レース中はバーストなど予期せぬ状態に限り交換は可とするが、オフィシャル立ち合いのもと作業を行い、**10分間のピットストップ(この間のタイヤ交換の作業は可)**を行う事とする。

10. パドック・ピット内

競技車両のパドック内でのバックギアの使用は禁止とする。バックをする場合は、必ず手押しをすること。

※コース内でのクラッシュ・スピン発生時におけるコース復帰の際のリバースギアの使用は可とするが、周りの車両を良く確認し、他車へ接触等を起こさない様に十分注意をする事。

11. クラッシュ時について

クラッシュをした際にオフィシャルが車両の確認や修復が必要だと判断した場合はピットイン及び各チームのパドックエリアにて車両の確認が必要となります。

※なお、セーフティーカーが出る原因を作ったチームについては、車両の状態にかかわらず必ず各チームのパドックエリアに戻り車両の確認を行わなければならない事とする。

【16】決勝レース中の給油について

決勝中の給油は必ず1回行うこととし、給油量はチームごとの自由とする。

給油可能な時間は、決勝レース開始1時間後経過後～4時間経過後の間とする。

なお決勝中の燃料切れによるコース内での停止は10分間のピットストップペナルティーとし、ペナルティーストップ後に、オフィシャル立ち合いのもとガソリンの給油を行い再スタートとなる。

※給油エリアでの滞在時間は最低4分間とする。※指定時間外・指定場所外での給油は一切禁止とする。

(給油方法について)

- ① 給油エリアにてエンジンを停止後、チーム員の方が給油場所にあるストップウォッチを押し、停止時間の最低4分間の計測を開始する。
 - ② 計測開始後、再スタートドライバーを除く最低2名の給油担当作業員(1名は給油担当・1名は消化担当)により給油を開始する。給油作業中、消化担当者は消火器を給油口に向け構えること。
 - ③ 作業終了後、規定の停止時間が終了した時点でエンジンを始動し、再スタートしてコースに復帰する。その際、各自のピットエリアに戻っての作業は禁止とする。
- ※ また、給油エリアでの車両整備等(車両に触れての整備・調整)の行為は一切禁止とする。
- ※ 再スタートドライバーは給油に参加出来ないため、給油作業は最低他2名で行うこと。再スタートドライバーを除き、給油作業に関わる人数は最大3名までとする。
- ※ 給油時の服装は、給油エリアに入るチーム員全員がレーシングスーツもしくは上下が繋がった作業ツナギ、ヘルメットおよびグローブを着用すること。
- ※ 給油用の燃料はピットの指定場所で保管し、給油の際に給油エリアまでお持ちください。安全に使用できるスチール製のガソリン携行缶のみ使用可能とする。
- ※ 給油エリアではドライバーチェンジは必ず行うこととしドライバー交代回数にも含まれる。
- ※ 給油をする際、車両がピットに戻った時点でチーム員が給油エリアにいない場合は、給油は出来ません。その状態での待機不可。給油エリアを通過しコースインをすること。
- ※ 給油エリアでの悪質な場所取り行為は禁止とする。(ピットスルーペナルティー対象)

【17】計時・順位の認定

計時はサーキットの自動計測装置を用いて行う。耐久レース終了後は、先頭車両がスタートから規定走行時間経過後にスタートラインを通過しチェッカーフラッグが振られ、スタートラインを通過した車両からレース終了となります。順位については終了時点の周回数により決定する。

但し、同一周回数の場合は先にスタートラインを通過した順とする。

計測器(トランスポンダー)本体をレース中に脱落(自車のクラッシュや他車からの接触が原因の場合も含む)させてしまった場合には使用している各チームの責任とし、その時点でのレース結果(DNF)とする。計測器破損時は 75,000 円のご請求となります。

【18】レース成立・不成立

耐久レース中に著しい悪天候又はトラブルにより競技の続行が不可能と競技長が判断した時は下記の対処となります。 ※競技時間の50%～成立とする。

また、レッドフラッグによって途中中断した場合で、再スタートする場合には計時を終了した時点の順位(レッドフラッグの提示前の周回)を再スタートの順位とする。

また、再スタート終了後、結果に中断前レースの周回数のみ加算し総合順位とする。

【19】完走

チェッカーフラッグを受けたものを完走として認める。 ※未完走場合は順位は繰り下げとする(DNF)

【20】クレームについて

様々なクレームに対しては、チーム代表者署名・捺印・抗議理由を記入した文書のもと、チェッカー後20分以内にクレーム申請料¥30,000を添えて、受付事務局へ提出してください。

尚、クレームが成立した場合は 申請料¥30,000は返却致します。

※口頭でのクレーム、チェッカー後20分以上経過後のクレームは一切受け付けないものとする。

【21】諸注意

- ・接触があった場合は、当事者同士、走行後確認し、声を掛けをお願いします。
- ・走行時に後方の車両に進路を譲る場合は、自車がよける方向へウインカーで合図をして下さい。
- ・コース内やクラッシュパッド上など、危険箇所への立ち入りを禁じます。
- ・火気厳禁 ※パドック内は禁煙です。喫煙は受付事務所の隣にある喫煙スペースでお願いします。
- ・小さなお子様をお連れの場合は目を離さず、手を繋ぐなどして目を離さないようにお願いします。
又、ペットをお連れの場合はリードを必ずお付け下さい。
- ・サービスカーは1チームに対し1台のみパドック内に駐車可能です。

【22】ペナルティー

違反者に対し、黒旗と当該車両のゼッケンがメインポストから提示される。

当該車両はピットに戻り、オフィシャルの指示に従い、指定エリアに停止すること。

ペナルティーストップの時間は、違反の軽重に基づき決定される。

なお、下記はペナルティ一覧の例とする。

- ・受付・車検時間の終了に間に合わなかった場合 ⇒ 決勝レース開始時 ピットスタート
- ・練習兼予選走行を走行出来なかった場合 ⇒ 決勝レース開始時 ピットスタート
- ・車両規則違反 ⇒ 程度に応じて決勝レースより周回数の減算または賞典外(※出走を認めない場合もあり)
- ・レース中の危険行為・マナー違反(不必要な威嚇行為や露骨な挑発行為等)
- ・ドライバー交代エリア及び給油エリアでの悪質な場所取り行為 ⇒ ピットスルー
- ・他車への激しい追突など ⇒ ピットスルーもしくはピットストップ(程度に応じて1分～)
- ・車両横転時 ⇒ 車両の程度に関わらずリタイヤ扱いとする。
- ・決勝レーススタート合図の日章旗及び、フォーメーションラップ時のレース再開の合図の緑旗が振られる前の加速、またブリヂストンゲート手前での他車の追い越し、隊列をみだす行為をした場合 ⇒ ピットスルーペナルティー
- ・**暴言・恫喝**
運営スタッフ及びオフィシャル等に暴言や恫喝を行った場合、即時の大会記録の抹消、及び退場となります。
合わせて警察に通報し、以後の対応は警察となります。
- ・コース及びパドックエリア、ピットロードでの逆走は禁止とし、違反行為を行った場合はレース失格とする。

- ・下記写真位置のピットアウト出口にあるイエローラインをまたいでの走行は禁止とする。
違反行為を行ったとオフィシャルが判断した場合にはピットスルーペナルティーとする。



【23】クラッシュ共済

当サーキットの施設等を破損してしまった場合、破損してしまった個人の全額負担とする。
そのための保険として任意でクラッシュ共済に加入することができる。
1口3,000円 最大6口まで加入可能。
1口あたり25,000円までガードレールやクラッシュパッドの交換費用を保障。
加入は当日の走行開始前までとし、チームでの加入のみとする。
加入希望チームは当日、受付時に代表者が別紙に記入。その場で提出し共済代を支払うこと。

【24】フラッグ(旗)・シグナルの説明

フラッグはサーキットを走る上で、**重要なルール**となります。フラッグの意味を理解した上で、見落とし等のないように走行願います。
本大会では、フラッグの一部が通常の意味と異なる使用法となりますのでご注意ください。

黄旗→危険箇所の発生あり。

危険回避出来る状態で走行してください。

黄旗+SCボード→ペースカーの介入。全車追い越し禁止

ペースカーから指示のある場合は、指示に従い安全な速度で速やかに隊列の最後尾に着いてください。

赤旗→走行中断。追い越し禁止

オフィシャルの指示がない限りコース上での停止を一切禁ずる。基本的に決勝中は使用しませんがやむを得ない場合(悪天候によるレース中断等)に限り使用します。

緑旗→先に出した合図の解除(コースクリア)

黒旗→ピットイン命令。

非スポーツマンシップ的行為や、人為的危険のあるペナルティーの対象車輛に対してのピットイン命令。
改善できる場合のみ、オフィシャルの指示に従いコースインできる。但し競技長の判断により、度重なる黒旗指示を受けた場合は失格とする(同じ理由のペナルティーを2度受けた場合等)

・日章旗→レーススタートの合図

・チェッカーフラッグ→走行終了又は競技の終了。

【25】スペアカーの使用について

スペアカー(Tカー)の使用は可とする。ただし、車両変更は決勝レースの開始前までとし、1度変更した場合には賞典外扱いでの出走とする。また車両変更を行う場合は、必ず出走前に再車検を受ける事とする。

【26】シリーズポイント

1位・・・20ポイント	2位・・・17ポイント	3位・・・15ポイント
4位・・・13ポイント	5位・・・11ポイント	6位・・・10ポイント
7位・・・9ポイント	8位・・・8ポイント	9位・・・7ポイント
10位・・・6ポイント	11位・・・5ポイント	12位・・・4ポイント
13位・・・3ポイント	14位・・・2ポイント	15位以下・・・1ポイント

※最終戦時のシリーズポイント合計が同点だった場合には、上位入賞回数を優先し順位を決定する。

※決勝レース未完走(DNF)は一律1ポイント、
決勝レース未出走(DNS)及び章典外は0ポイントとなります。

【27】ハンディキャップ

毎戦各クラスの優勝チームには、ハンデとして次戦からのドライバー交代を1回追加とする。

また、シリーズ中に2位または3位入賞を2回した場合には次戦からのドライバー交代を1回追加とする。

シリーズ中2回目・3回目の優勝をした場合には、次戦からハンデを2回ずつ追加とする。

例1:1戦目優勝⇒2戦目～4戦目までのドライバー交代ハンデを1回追加。

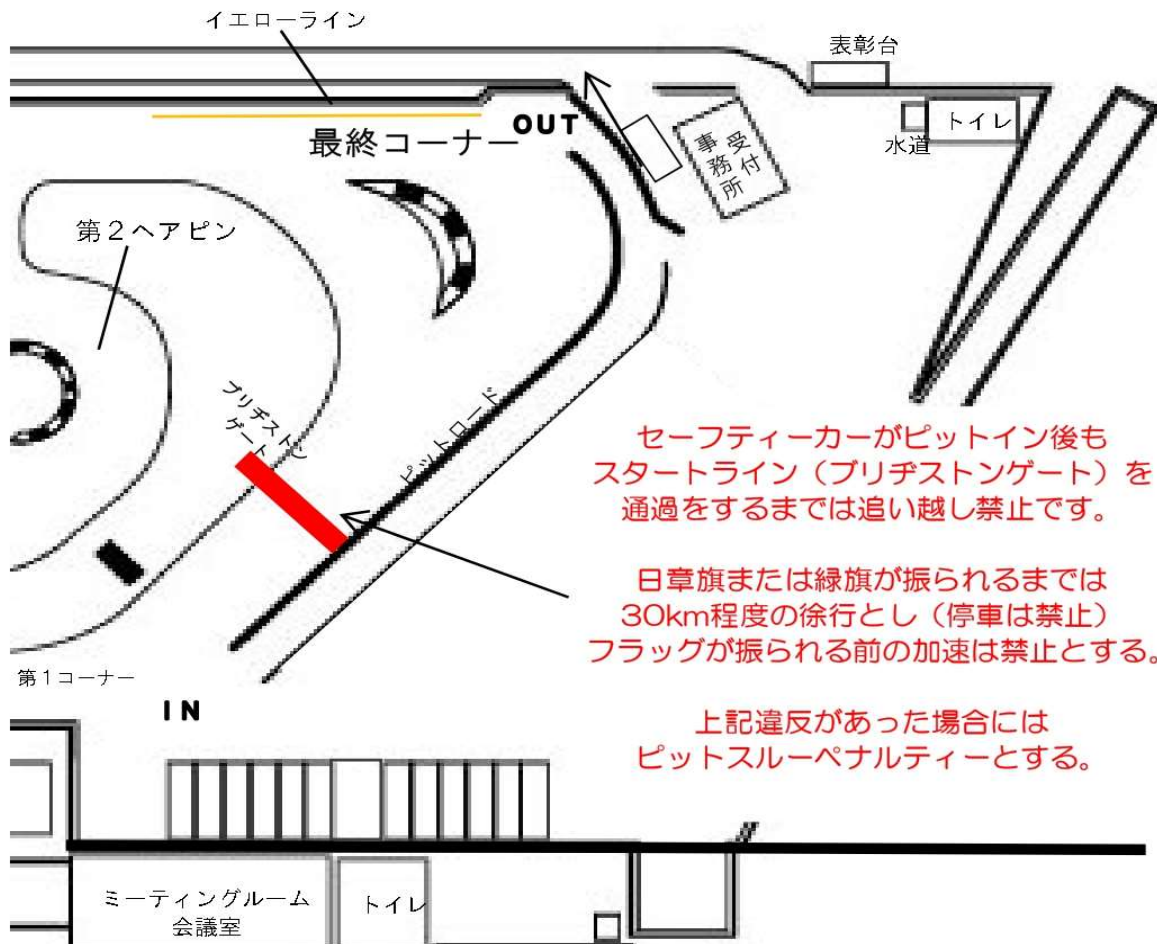
例2:1戦目2位入賞、2戦目3位入賞⇒3戦目～4戦目までのドライバー交代ハンデを1回追加。

※ハンディキャップ引き継ぎについて

2026(本年度)シリーズの各クラスシリーズチャンピオンのチームには、

2027(翌年度)初戦参加時のドライバー交代ハンデを1回追加とする。

レーススタート時及び SCボード解除時について



【29】ピットロード・パドック内について(ピットスルーペナルティー時の補足)

